

WCA大会 開催方針

SCJ最初の事業年度 2021年7月末まで

2020年11月28日

WCA Regional Delegate
大村周平

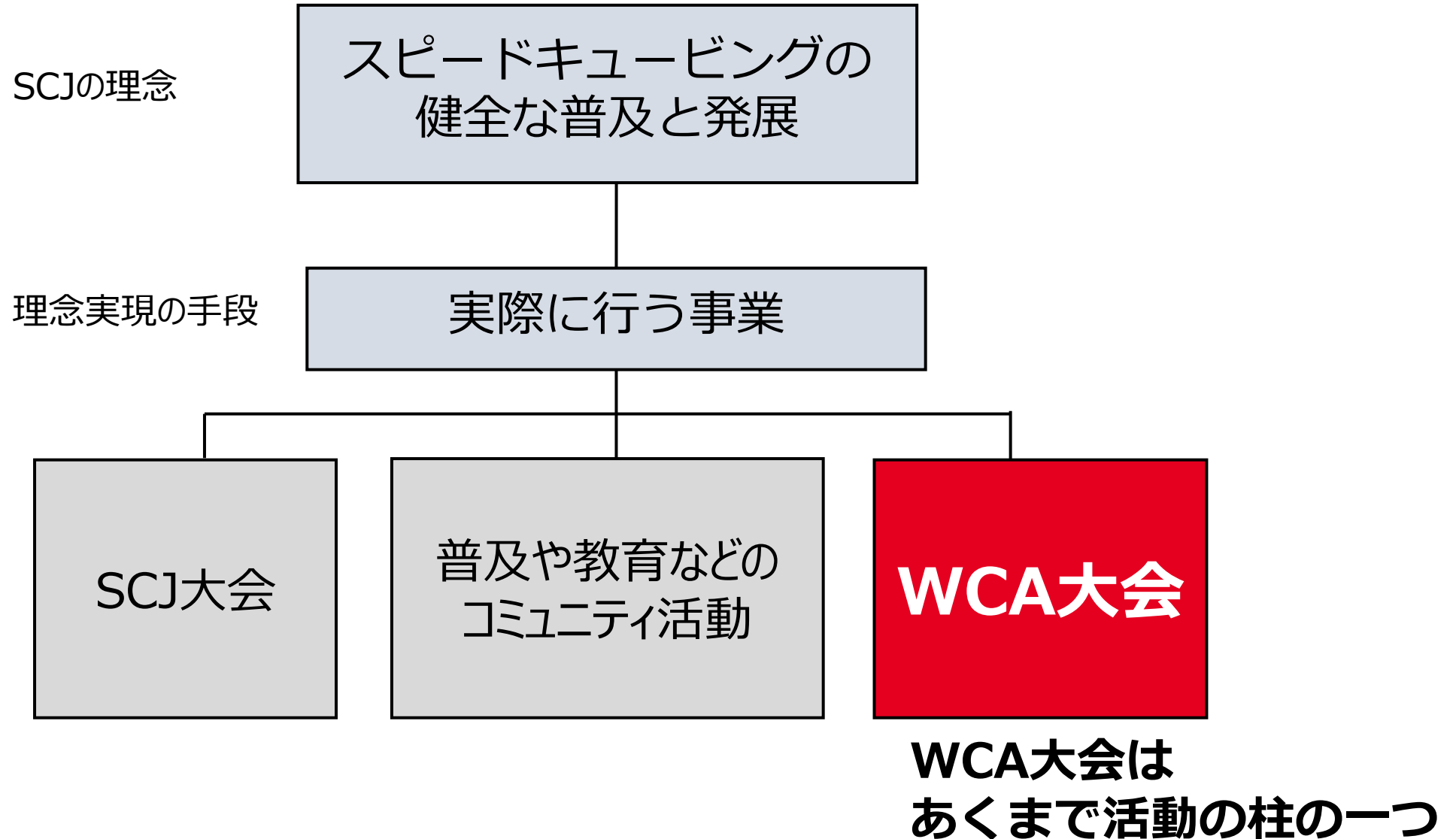
一般社団法人
スピードキュービングジャパン



今後のWCA大会開催方針

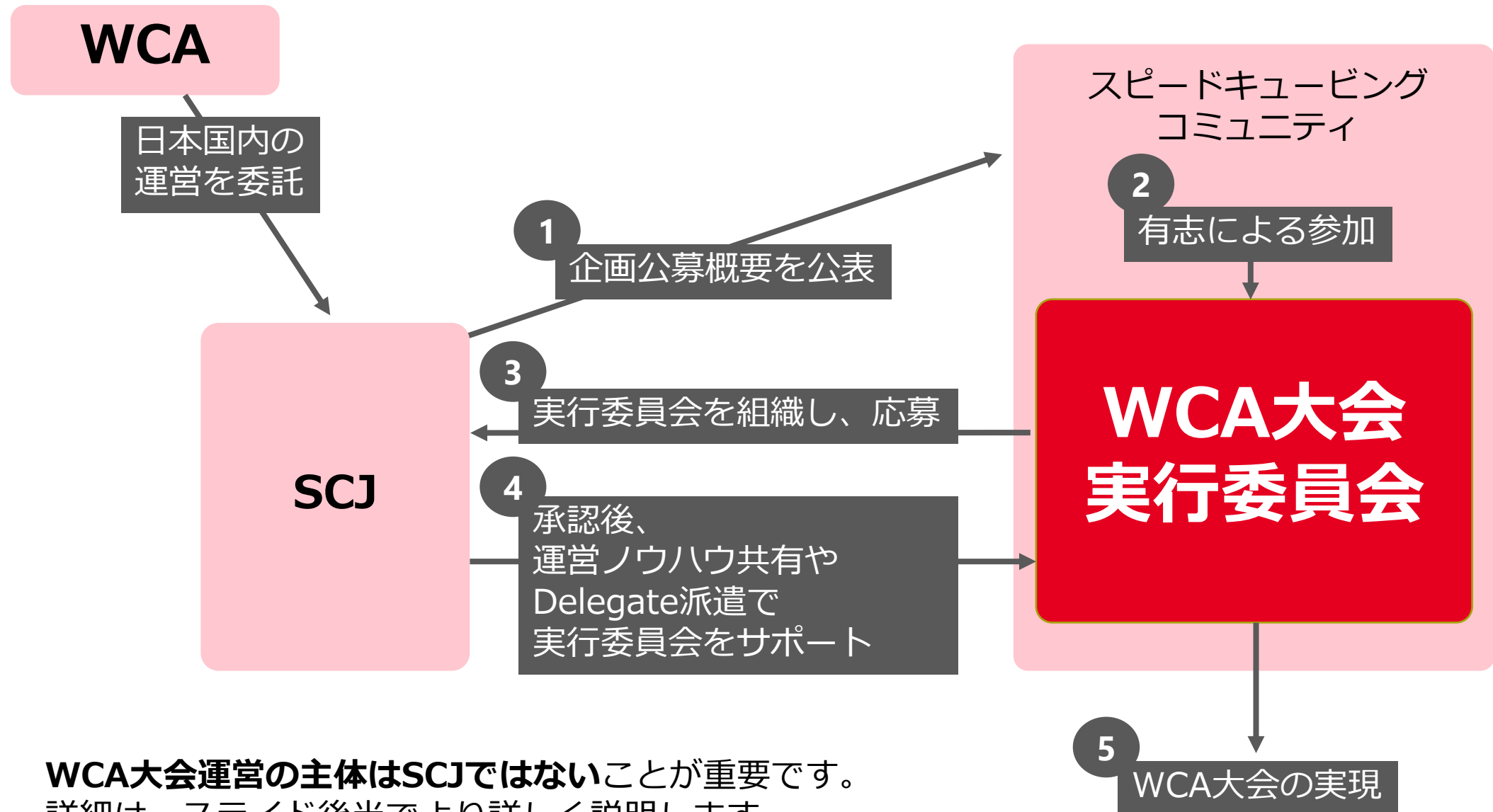
これからのWCA大会の位置づけ

3



今後のWCA大会を、以下の2つに大別します。

	WCA選手権	WCA公式記録会
扱い	日本大会などの 特殊なケース	これからのWCA大会の標準形式
競技方式	従来のWCA大会と類似	全ラウンド 1 ラウンドのみ
目的	より高い技能を持った 競技者の勝敗を決する	多くの競技者に 自己記録更新の計測機会を提供する
運営主体	SCJ	それぞれの実行委員会
企画手法	SCJ主体で企画する	法人が発表した要項に沿って 公募する



前提：従来のままのWCA大会継続は困難

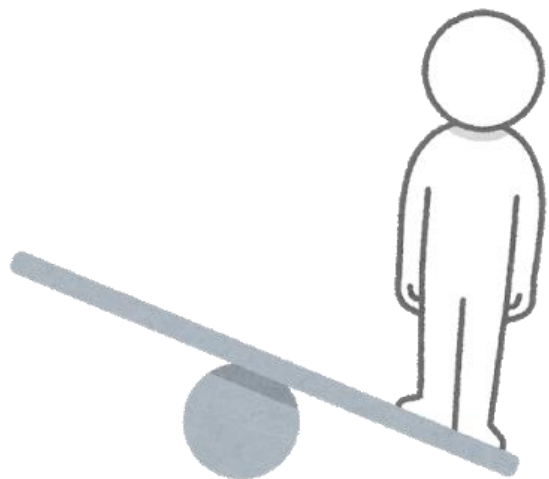
拡大を続けるスピードキュービング文化は、もはや特定の人間の取り組みだけでは維持できません。これはCOVID-19対策とは独立した根本的問題です。

そこで、SCJはシステムチックな解決を図る立場をとります。企画公募制の導入はそのひとつで、この制度の下により多くの人が大会開催に関われるよう促します。

一人ひとりの認識を変えていかなければいけない

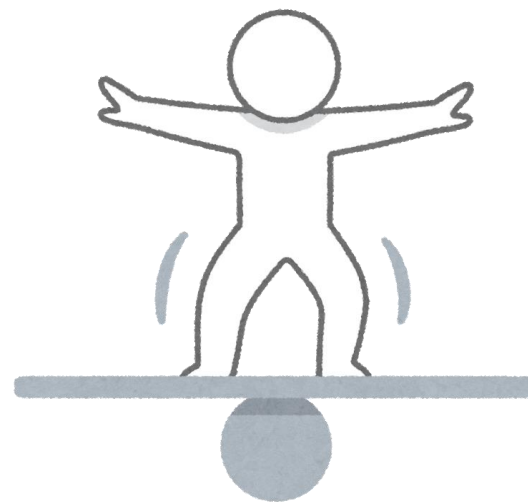
7

大会にたくさん参加したい！
でも運営は忙しそう。
競技に集中できないのは嫌だから、
関わるのはやめておこう



公募をはじめとする
今回の方針転換

ちょっと面倒くさいけど、
これくらいなら
なんとか両立できるかな。



こう考える人が増えると、
結果として大会そのものを維持できず、
コミュニティ全体が損をしてしまう

大会需給バランスのとれた
コミュニティ全体としての安定点

今までの問題	解決方針	結果、予想されること
運営人材が足りない	「大会は待っていればどこからか降ってくるものではない」という認識をまずコミュニティ内に浸透させ、新規人材の立候補を促す。 大会を人材教育の場としても位置付け、既存メンバーのノウハウ引き継ぎを重視しながら従来よりも時間をかけて一つの大会を開催していく。	残念ながら、当面は大会の供給が不足することが予想される。 コミュニティ内の運営者比率を増やし、長期的な視点での解決を図っていく。
運営するのはコスパが悪いと認識されている	大会運営はたしかに簡単ではないので、積極的に企画が寄せられるよう、以下のようなインセンティブを設定する。 <ul style="list-style-type: none">開催種目には、実行委員会の意向を最大限反映する。参加費には、妥当な額の実行委員会人件費を含める。定員に対して申込が殺到しても、実行委員は優先して参加承認される。	大会運営に積極的な人が好まない種目は、今後ほとんど開催されないかもしれない。開催されても、定員に溢れて参加できないケースが増える。 また、参加費が増加する。
運営に興味があるが、何から始めればいいかわからない	SCJは大会開催までのロードマップを公開し、企画相談の場を設ける。 経験の浅い人にとっての運営難度を下げるために、開催規模の小さい公式記録会を標準形式とする。	大規模な大会は、日本選手権などの特殊ケースを除き行われたい。 ただし、時間が経ち、運営経験が十分な人材が集まってきたあとは方針変更の余地が生まれる。
運営をすると忙しく、競技者としての出番に集中できない	競技間には今まで以上に多くの休憩時間を設定し、直前まで運営スタッフだったとしても自身の競技の準備を整える余裕を設ける。	全体スケジュールがその分圧迫されるので、競技に割り当てる時間が減り、開催種目数は減ることになる。

SCJ理念「スピードキュービングの**健全な普及と発展**」には、業界全体が**持続可能なかたち**でありたいという意図があります。

まずは新体制立ち上げ直後の地盤固めとして、次世代への運営ノウハウ引き継ぎに注目したWCA大会開催方針を設定しました。

結果、**WCA大会の姿が従来と大きく変わります。**

少なからず戸惑いはあるかと思いますが、スピードキュービングコミュニティ全体が発展していけるよう、SCJへのご協力をお願いいたします。
一緒に新たな文化を作っていきましょう。

企画から大会開催までの流れ

企画申請～大会開催の流れ



企画募集要項の発表



企画について
SCJに相談

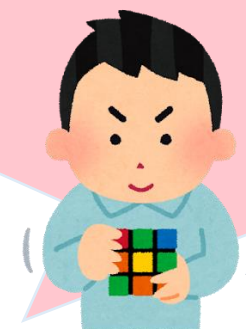
企画の申請と審査

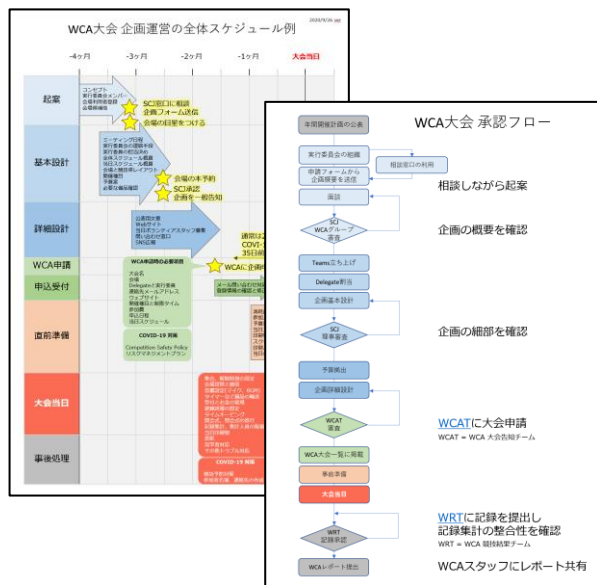


SCJのサポートを受けながら、
大会開催の準備



大会開催！





まずは、WCA大会開催に向けて公開する資料に目を通してください。

その上で、大会企画の起案に関する相談はいつでも受け付けます。
大会を開いてみたい！と少しでも気持ちが動いたら、
いつでも気軽にご相談ください。

オンラインの起案フォームより、
以下の基本事項を確認します。

- ・ 実行委員会メンバー
- ・ 開催種目
- ・ 開催日程と会場

相談窓口とやりとりしながら
空欄を埋めていけば、
自然と大会企画が出来上がっていきます。

申請いただいた大会企画を総合的に審査し、
企画として採用されることが決まれば、
実際にプロジェクトとして予算がついて動き出すことになります。





採用された大会企画には
Delegateなどの監督者を割り振り、
大会準備の実務をサポートします。

以降、企画をより詳細に決めながら
様々な作業を進めていきます。

- 大会当日の詳細スケジュール
- WCAへの大会申請
- 申し込み後の当日グループ割り振り
- 予算管理



一番楽しくて、一番大変なのが大会当日です。

- 想定とずれたスケジュールの現場管理
- 記録の集計
- 大会の事後整理
- 収支報告

さらに、終わった後の
反省会、収支清算、レポート作成までが大会運営です。
お疲れさまでした！

大会企画の募集要項はホームページに掲載します。

既存の運営ノウハウに関する詳細については
[相談窓口](#)にお問い合わせください。

info@speedcubing.or.jp

大会企画の申請は、
["WCA大会企画 起案申請フォーム"](#)から
お願いいたします。



一緒に大会企画をつくっていきましょう！
まずは新体制での相談窓口にご連絡ください。